

平成 29 年 7 月 6 日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所
庄 内 町

瀬場砂防堰堤及び六淵砂防堰堤が 登録有形文化財^{※1}に登録。

～先人が地域のために築いた貴重な砂防堰堤～

平成 29 年 6 月 28 日付けで瀬場砂防堰堤及び六淵砂防堰堤が国の登録有形文化財（建造物）として登録されました。

両堰堤は昭和 20 年代に施工され、当時の高い技術と美しい造形で施工された砂防施設です。このため、庄内町では、未来につなぐ貴重な財産として、国の登録有形文化財に申請し、今回登録となりました。

瀬場砂防堰堤（昭和 28 年完成）及び六淵砂防堰堤（昭和 27 年完成）は、立谷沢下流地域の土砂洪水氾濫の軽減を目的とし建設されました。この砂防堰堤の特徴は、1）粗石コンクリート造り及び玉石積み粗石コンクリート造りであること。2）曲線等の水通しであり、現在では珍しくなった技術及び美しい造形で、当時高い技術で施工された砂防堰堤となっております。

また、先人たちが龍神の信仰によって土砂洪水災害を鎮めることを願い建立した龍神供養塔の石碑が数多く見られます。

今後、これらの施設及び歴史的な資源等を活用し、庄内町の地域振興、地域活性化に向けて、様々な取り組みを進める予定です。

※登録有形文化財は、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録し、官報で告示することにより効力が発生します。（文化財保護法第57 条、58 条）

【参考】独立行政法人国立印刷局が提供しているインターネット版「官報」をご参照ください。

アドレス：<https://kanpou.npb.go.jp/>

※1）文化財保護法で文化財を分類しているものの一つで、有形文化財のうち、近代を中心にした身近な文化財建造物を登録有形文化財に登録し、保護を行うものです。

（発表記者先）

山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

〒996-0071 新庄市小田島町 5-55 TEL 0233 (22) 0262 (調査課直通)

副所長（砂防） しぎはら よしたか 嶋原 吉隆（内線 205）

調査課長 くぼた としかず 窪田 敏一（内線 351）

庄内町教育委員会 社会教育課

〒999-6601 東田川郡庄内町狩川字大釜 22 TEL 0234 (56) 3312

社会教育課長 うえの えいち 上野 英一

せ ば さ ぼ う えんてい ろくぶち さ ぼ う えんてい
瀬場砂防堰堤、六瀨砂防堰堤が国の登録有形文化財(建造物)^{※1}として登録
 ～先人の努力と情熱を後世に引き継ぐために～

平成29年6月28日付けで、山形県庄内町の立谷沢川にある「瀬場砂防堰堤」と「六瀨砂防堰堤」が国の登録有形文化財(建造物)として登録されました。

本砂防堰堤は、月山を源とする立谷沢川の中流域に位置する基幹堰堤であり、立谷沢沿川、最上川下流域等の土砂洪水氾濫の軽減を目的として、昭和20年代に建設された歴史的な砂防施設です。また、先人たちが龍神の信仰によって土砂洪水災害を鎮めることを願い建立した龍神供養塔の石碑が数多く見られます。今後、これらの貴重なインフラ施設及び歴史的な資源等を活用し、庄内町の地域振興、地域活性化に向けて、様々な取り組みを進める予定です。

※1) 文化財保護法で文化財を分類しているものの一つ。50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、ゆるやかな規制により保存を図っている。



～瀬場砂防堰堤～

瀬場砂防堰堤は、堤長193.3メートル、高さ6.0メートルの玉石コンクリート造であり、副堰堤と水叩き二段を備えています。



瀬場砂防堰堤正面



六角形の水通し形状



←砂防の碑
「黙而雄」

<砂防堰堤の主な特徴>

- 1) 粗石コンクリート造り及び玉石積み粗石コンクリート造りであること。
 - 2) 砂防堰堤の水通し部分が美しい曲線で施工されていること。
- 当時の高い技術力と熟練した技によって造られ、現在では復元することが難しく、貴重な砂防堰堤となっております。

～六瀨砂防堰堤～

六瀨砂防堰堤は、堤長157.0メートル、高さ15.0メートルの玉石コンクリート造であり、堰堤全面に玉石を張り、上部は割石を亀甲積した帯を表しています。



六瀨砂防堰堤正面



←亀甲積みした帯



曲線的な水通し形状



玉石張りした堰堤→